

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:宮城県)

(宮城県 平成21年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分(対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容(工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
							計画時(平成17年)	1年後(平成18年)	2年後(平成19年)	3年後(平成20年)	目標値(平成20年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費					その他
登米市	みやぎ登米農業協同組合	産地競争力	需要に応じた生産数量の確保	【野菜】(契約取引の推進)	需要に応じた生産数量の確保	【野菜】(契約取引の推進)キャベツの出荷量の契約取引の増加	16% 300t	16% 659t	37% 1,053t	42% 1,135t	48% 1600t	81%	キャベツの出荷量は146%、契約取引数量は378%に増加した。契約取引割合も増加しており、目標の81%を達成した。	野菜集出荷施設、予冷库施設	50,260,350	23,933,000	3,475,000	2,393,000	20,459,350	H18.11.30	集出荷貯蔵施設の整備により、収穫ロスの減少と品質改善が図られ、出荷量、契約取引数量とも大幅に増加した。しかし、秋冬キャベツにおいて長雨と集中豪雨の影響により、水田転作の多い秋冬キャベツにおいては、収量の減少及び肥大不良となり、出荷量全体が減少した。このため、20年度の契約取引は、前年度より増加したものの、肥大不良により契約取引の条件(L規格以上)を満たす量が確保できなかったため、目標達成には至らなかった。今年度から排水対策(明渠・弾丸暗渠等)を講じた展示ほの設置とその普及に取り組み、収量の安定化を図るとしていることから、県としては目標達成に向け改善指導を行っていく。	目標達成に向け、生産者数・作付面積・出荷量・契約取引の拡大を着実に進めている。しかし、20年度は長雨と集中豪雨の影響により、水田転作の多い秋冬キャベツにおいては、収量の減少及び肥大不良となり、出荷量全体が減少した。このため、20年度の契約取引は、前年度より増加したものの、肥大不良により契約取引の条件(L規格以上)を満たす量が確保できなかったため、目標達成には至らなかった。今年度から排水対策(明渠・弾丸暗渠等)を講じた展示ほの設置とその普及に取り組み、収量の安定化を図るとしていることから、県としては目標達成に向け改善指導を行っていく。	
加美町	東米泉飼料生産組合	産地競争力	産地競争力の強化に向けた総合的推進	【耕種作物活用型飼料増産】	生産性の向上	【耕種作物活用型飼料増産】稲わら、牧草の確保46.7ha 79ha 32.3ha増加	46.7ha	113.6ha	124.8ha	140.1ha	79ha	289%	自給飼料確保のため牧草、稲わらを目録以上の140ha確保した93.4ha増加した	ロールベレー、ヘイレキ	6,580,000	2,399,000	0	0	4,181,000	H18.5.31	機械の導入により効率的な作業により、受託面積を拡大することができ、目標は達成された。	目標は達成された	